

塘研究室現地調査報告

5月22日に表磐梯にて現地調査を実施しました。午前中はふくしまレッドリスト改訂のための調査を天鏡台付近にて行いました。午後は猪苗代湖西岸の湿地と池での底生動物相調査を行いました。

本研究所に対して、毎夏実施されているフレンドシップ事業（自然体験実習）で学生が子どもたちと一緒に歩くハイキング（天鏡台ウォークラリー）コース沿いの自然ガイド依頼が人文学類の谷先生からありました。6月4日に黒沢研の遠藤君（M2）、塘研の川人君（M2）と塘がガイド役を務める予定ですが、そのコースの下見を兼ねて、コース沿いの昆虫相調査を行いました。いろいろな昆虫が観察できましたが、キバネツノトンボの数が多かったです。磐梯青少年交流の家の構内にもいましたが、多かったのは昭和の森の駐車場法面、芝生広場、そして磐梯山牧場付近の草地です。環境省のレッドリストには未掲載ですが、14の都府県、東北地方では青森、岩手、宮城の各県のレッドリストに掲載されている種です。

会津若松市湊町二ツ谷の湿地ではミズバショウの葉上にヒウラヒラタネクイハムシが見られました。笹山の池（溜池）は水位が高く、調査が困難でしたが、コガムシ、キイロヒラタガムシ、シマゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、マルチビゲンゴロウ、チビゲンゴロウ、コガシラミズムシなどの水生甲虫、トンボ類成虫はエゾイトトンボ、オツネイトンボ、カラカネトンボ、幼虫はクロイトトンボ、モノサシトンボを確認しました。不思議なことにトビケラ類の幼虫はまったく見られませんでした。

天気が良過ぎて汗をかきながら、そして、猪苗代湖や磐梯山を見ながらの調査になりました。



キバネツノトンボ（昭和の森）



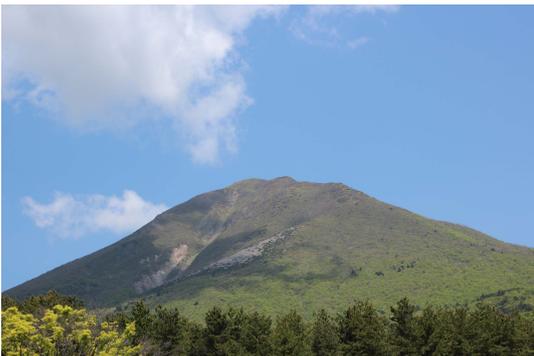
キバネツノトンボ（磐梯山牧場付近）



芝生の上を飛び回っていたウスチャコガネ



会津若松市湊町笹山の溜池



昭和の森から見た磐梯山



磐梯山牧場付近から見た猪苗代湖